

ひがしいず幼稚園-職員室だより-

令和 6年 5月 8日



今日のメニューはなに？

PTA 総会の後に、栄養士の植松先生のお話を聞き、給食の試食会を行いました。

エプロン（年中・年長）、帽子を身に着け、お家の人と給食を食べられることが嬉しいとわくわくした気持ちの子どもたち。きつと、お家の人と一緒に食べた給食は、いつも以上に美味しかったことでしょう。

今年度は、年少児も入園式の翌日から給食が始まりました。約1か月経った今では、おかわりする子もいるくらい、給食が大好きになっています。

ふるさと給食、アスリート給食…子どもたちの人気メニューは何か…。ランキングは3月の園だよりでお知らせします。



毎月、給食訪問で栄養士の植松先生が来園。子どもたちとも仲良しです。



イルカのジャンプにたくさんの拍手…



親子遠足は、下田海中水族館へ行きました。

アシカやイルカのジャンプに驚いたり、カードに書かれた海の生き物探しをしたりと、親子で興味を深めながら楽しい時間を過ごしました。また、ちびっ子インストラクターのけいやくんが出す合図で、イルカたちが華麗なジャンプを見せてくれるなど、子どもたちもお家の方も楽しい思い出ができました。幼稚園でも“水族館ごっこ”が始まっています。

今回も霊友会さんのご厚意でバスをお借りすることができました。乗り心地が良く、帰りのバスでは眠ってしまつ子もいました。ありがとうございました。



地震が起きたらどうする？



園では、毎月避難訓練を行っています。ある日、避難訓練のための緊急地震速報が園内に響き渡りました。音に驚いた子どもたちでしたが、机の下にもぐったり、ダンゴムシのポーズで頭を隠したりと、しっかり自分の身を守っていました。年少さんは、初めての防災頭巾に戸惑っている子もいましたが、先生と一緒にしっか

り頭に被ることができました。

災害はいつ来るかわかりません。日頃から、「もしも…」に備えたいと思います。



すごいぞ！かしわ餅パワー！



遊戯室に飾られた五月人形の前で、子どもの日のパーティーを行いました。そら組の子どもたちが大きな声で進行してくれました。さすが幼稚園のリーダーさん！堂々としていてかっこよかったです。

先生たちの「金太郎」の劇を見て、「かしわ餅（小麦粉饅頭）を食べると強くなる！」と知った子どもたちは、食推さんとボランティアのお母さんたちが作ってくれたかしわ餅をぱくりっ！昨年「あんこが苦手…」「食べられない…」といていた子もいつの間にか食べ終わっていて、お母さんたちも先生たちもびっくりしていました。その後の子ども vs 先生の相撲大会は、子どもたちの勝ち！かしわ餅パワーのすごさを実感していました。



たくさん頭・体・心を動かして…

幼稚園では、子どもたちが楽しいことを見つけ、夢中になって遊んでいます。子どもは遊びを通して思考を巡らし、想像力を発揮し、自分の体を使って、友達と一緒に遊びの中でいろいろなことを総合的に学んでいます。

そして、夢中で遊ぶことによって、思いを実現した手応えや自信、楽しさ、目標に向けてがんばる力や協調性などの「学びに向かう力」が育まれていきます。

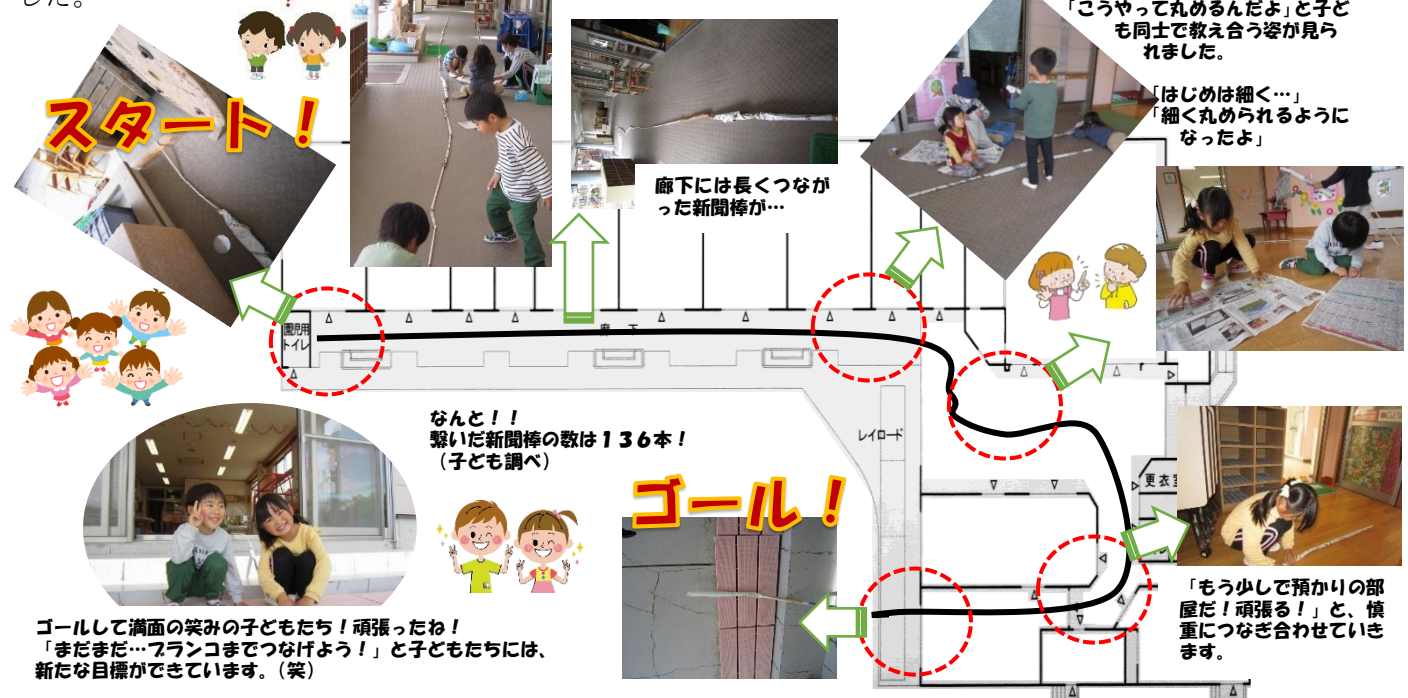


年長（5歳児）の遊びの様子をお知らせします…

「新聞の棒は、どこまでつながるのかな？？」

丸めた新聞の棒を繋いで遊んでいた子どもたち。はじめはホールの端までを目標としていましたが、廊下に移動させると、Tくんが「預かりの部屋までつなげよう！」と言いました。近くで遊んでいた子どもたちも「いいねえ」「私もやりたい」と仲間が増えていきました。翌日も遊びが続き、新聞の棒はどんどん伸びていきました。「見て！ここまできたよ」「あと少しなの…」と、丸めては繋げ、丸めては繋げ…と汗をかきながらも笑顔で取り組む子どもたち。そして、ついに預かりの部屋のドアに到達！「やったね」「すごい、すごい」と褒める先生たちの言葉をかき消すように「もっとあっちまで…」「ブランコまでつなげよう！」と次の目標を決め、突き進もうとする子どもたちの姿がありました。

「どうやって作る（丸める）の？」「こうやるんだよ」と子ども同士で教え合い、丸める棒の太さも徐々に細くなり、棒と棒のつなぎ方も上手になっていきました。遊びの中でたくさん学んでいる様子が見られました。



「引っかけたボール…どうやってとる？？」

「いいものがあるから見に来て」とそら組へ行ってみると部屋の入口にボールが2つ下がっていました。自慢げに見せてくれたMくんがボールをパンチすると…「アッ！」。ボールが上の鉄の棒に絡まってしまいました。

すぐに、ボール救出作戦が始まりました。フォーミングを積んでみたり、長い棒を作ってみたり…と、考えられるいろいろな方法を試してみる子どもたち。自分で考え、動く子どもたちの姿は素敵です。しばらくして「とれたよ！」と教えてくれたの

「見て！いいもの作ったんだよ！」



「ボールに紐をつけてみよう」「もう1個、重ねよう」「支えてあげるね」子どもたちが考え、自ら実行！

で、話を聞いてみると「結んであったひもを切った…」とのこと。子どもたちが考えた方法で、救出作戦は大成功！

今まで経験したことが生かされ、さらに試行錯誤することを楽しむ子どもたちの様子が見られました。

ひがしいず幼稚園では、子どもたちが夢中になって遊べる（学べる）環境の構成や援助を大切にしています。